（第三種郵便物認可）　建設通信新聞

カナリヤ通信

第35号

～働き方について考え、気づく～

内閣府・文科省・経団連　夏のリコチャレ2018　～理工系のお仕事体験しよう～

わたしの住むまちをデザインする仕事

主催：日刊建設通信新聞社　日本大学理工学部

RIKO CHALLENGE リコチャレ Summer of 2018 夏のリコチャレ2018 ～理工系のお仕事体験しよう！～ 内閣府・文部科学省・経団連共催

● 東京都 ●

①2020年に向けた東京都の事業など
②首都東京の都市活動と都民を支えている
③どの子どもたちも積極的に疑問、質問を投げかけていて、私たちの説明にも熱が入った
④普段触れ合うことの少ない子どもたちの純粋な思いや考え方を聞くことができ、大変刺激を受けた

● オリエンタルコンサルタンツ ●

①橋の形の決め方、トンネル断面の原理
②安全安心な日常生活のすべて
③説明だけでなく、質問（クイズ）を出したことで、興味をもってくれたように感じる
④参加者が意外に少なく崩客方法に改善の余地を感じたが、これからの将来を担う子どもたちに自分たちの仕事を紹介でき、楽しみながら勉強ができた

● 関電工 ●

①電子回路ペンを用いて電子回路を作成し、ＬＥＤに明かりを灯す工作を行った。発電所から需要家までの「電気の通り道」を説明
②生活の根幹を支えている
③電子回路図を用いて、小学生から保護者まで幅広い年代の人に、事業内容について紹介することができた
④子どもの学年や年齢によって着眼点が異なり、成果物を完成させた時にさまざまな反応を見ることができた

● 基礎地盤コンサルタンツ ●

①洋上風力発電所建設のための地盤調査
②みんなが暮らすために必要な電気をつくっている
③専門用語を使わずに仕事を説明することがいかに難しいかを改めて感じた。高校生は土木の世界に興味のある子たちばかりだった
④悪天候にも関わらず意外と「お客さんが来た」と思った。それでも聞いていたほどの盛況さではなかった

● 建設環境研究所 ●

①ミズベリング（市民、企業、行政が一緒に水辺の賑わいを育てていく取り組み）の紹介
②生活全般での想い、安らぎ、余暇、ビジネス
③「ミズベリング」をっクストや提示物、映像などから直感的に理解してもらい、「楽しそう、参加してみたい」という意見をもらった
④学生の関心や意識の高さを感じた。台風のため来場者が少なかったのが残念だった

● 三建設備工業 ●

①放射空調システムの体感
②オフィス、病院、図書館等の快適空間
③風のある空調が当たり前だと思っていた人たちが、放射空調を体感し驚いてもらって楽しかった。子どもは体験が大切だと感じた
④技術を子どもたちに紹介でき良かった。将来、建設産業界に興味を持ち理系に進む学生が増えると良い思った

● ジャパンホームシールド ●

①戸建て住宅の地盤の強度を測定するＳＤＳ試験機と防災に役立つ地盤サポートマップ
②安心できる住まいづくりに役立っている
③地盤サポートマップを使って、安全・安心なまちづくりをする仕事に就きたいといっていた学生が印象的だった
④地盤や地形に興味のある学生に、住宅を建てる際に当社のような仕事があることを紹介できてよかった

● 新菱冷熱工業 ●

①ＭＲ（専用のレンズを身に付けて気流を可視化する技術）
②建物における空調技術
③扇風機の気流を「目で」見て感じることで、気流や温度をどう設計するかが快適な空間づくりに重要だということを感じてもらった
④多くの小中高生、大学生に技術を知ってもらい非常に有意義な機会となった

● ダイダン ●

①ＶＲ技術を使用した超省エネ建物（ＺＥＢ）のウォークスルー体験、イオンドロップ（静電気除去装置）
②省エネルギーで快適な建物の設計や施工
③目で見て、実際に体験してもらうことで、建築設備の技術を身近に感じてもらえて、関心を引き付けることができたと思う
④私たちが仕事で使っている技術を、子どもたちが驚いたり感心したりしながら聞いてくれるのが新鮮だった

● 西松建設 ●

①トンネルのつくりかた
②道路、鉄道等のインフラ整備
③熱心に説明を聞く子どもが多かった。特に高校生以上の反応が大きかったと感じた。低学年の子にはどこまで理解して貰えたか不安も残った
④子どもたちの反応がとても素直で理解しやすい。出展企業の人たちとも交流もでき、楽しめたし勉強にもなった

● 三井住建道路 ●

①アスファルト舗装（構造）、遮熱性舗装
②ヒートアイランド対策（遮熱性舗装）
③理系に興味がある人たちが来場していることもあり、多くの人が意欲的に感心をもって話を聞いてくれた印象だった
④直に子どもたちが「道路」への反応が知れて、有意義な時間だった。子どもたちが建設技術により興味を持ってもらえたらうれしい

● 六興電気 ●

①３路スイッチの仕組み、人感センサーの仕組み
②階段の上でも下でも電気をつけることができる。また、人が通るだけで自動的に電気を付けることができる
③ゲーム形式で体験してもらうことで、身近にある電気設備の仕組みを理解し、興味・関心を持ってくれたと感じた
④来場した学生に興味をもってもらうことはもちろんだが、他の出展者の技術を見ることができて、勉強になり大変おもしろかった

● 暮らし ●

高校１年生の夏野理子ちゃんが朝起きて学校に行って…。コンサートに行って…。さあ、この日常の中に「建設技術」はいくつあるでしょう？理子ちゃんの１日を通して生活になくてはならない建設関連の技術が、どこで、どんなふうに使われているのかについて説明しました。

● 巨大災害 ●

８月９日、謎の巨大生物がわたしたちの街に激突！その瞬間、衝撃波と震度７の地震が襲い、建物がつぶれ吹き飛んだ。地面は半径１㎞、深さ20㎞もえぐられ、あたりは火の海と化し壊滅状態。想像を絶する光景、かつて経験したことのない災害に建設産業界がどう立ち上がる！人命救助、被災状況確認、復旧・復興へ、未来に向かって勇敢に立ち向かう姿を、技術を通して紹介しました。

● 女性の活躍を支える団体 ●

建設産業界の女性活躍が進んでいますが、長い歴史から考えると始まったばかり。国や団体では、より働きやすい環境を求めて施策やネットワークをつくるなど、バックアップしています。それぞれの取り組みや動きなどを紹介しました。

私たちが生活するに何気なく使っているもの、それが建設産業界の技術によってできているということを知ってほしい。そういった願いから、８月９日、日本大学理工学部駿河台キャンパスで、夏のリコチャレ「わたしの住むまちをデザインする仕事」を開催しました。会場では、「暮らし編」と「巨大災害編」の２つの視点から、技術者がバーチャルリアリティー（ＶＲ）や模型、パネルを使ってわかりやすく説明しました。来場者の中学生から大学生は興味津々、直接、技術を見て、触れて、体感、そのおもしろさに目を輝かせていました。

このイベントは、女子の理工系進学を後押しする取り組み「理工チャレンジ（リコチャレ）」の一環として内閣府、文部科学省、日本経済団体連合会が主催する「夏のリコチャレ2018」に、日刊建設通信新聞社が日本大学理工学部と一緒に参加したものです。産学官32者が一堂に介するビッグイベントとなりました。

● 内閣府 ●

①―
②―
③―
④内閣府では女子生徒等の理工系分野への進路選択の支援の取り組みを推進しているが、このイベントも建設技術を体感できる内容で、参加者が楽しみながら興味を持つきっかけになっていたと感じた

● 建設コンサルタンツ協会女性の会WG ●

①建設コンサルタントの仕事を紹介（パンフレットやパネル、動画）。女性のワークライフバランスに関するニュースレターの展示・パネルアンケート）
②私たちの生活全般に役立っている
③子どもたちは真剣に話を聞いてくれた。中には質問する子どももいて、理工系に対する関心の高さがうかがえた
④未来を担う子どもたちに建設コンサルタント業界についてＰＲすることができ、有意義なイベントだった

● 建築設備技術者協会 設備女子会 ●

①講演会・見学会などの勉強会や交流会を開催して　建築設備に関わる女性技術者のネットワークづくりに貢献している
②子どもや学生・業界の人が、女性技術者のネットワークにとても関心をもってくれた
③海外からの留学生にも建築設備に興味をもってもらえ、女性技術者の声に耳を傾けてもらえた
④建築設備業界に興味を持つ学生が増えていくことを期待したい

● 測量・地理空間情報女性の技術力向上委員会（ソクジョの会） ●

①測量技術（航空レーザ計測、実体視など）
②現在位置を知る、移動する、距離を測る等
③体験コーナーや配付物（下敷き、パズルなど）などに人気があったので、体験できる機会をつくるのは大切だと感じた
④測量や地理空間情報の存在を知って興味を持ったり、子どもによっては感動してもらえたりして、とてもうれしく思った

● 建設物価調査会 チームひまわり ●

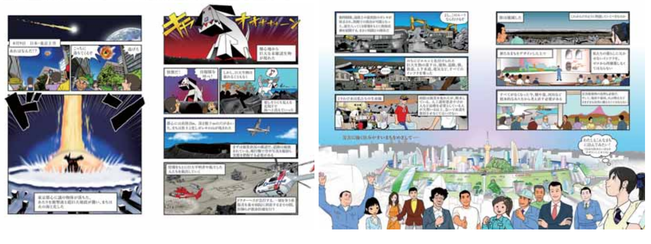
①小冊子を配布（建設業界で活躍する女性たちの取材記事）
②建設業界で働く女性たちの励みになっている
③デザインにもこだわった小冊子を「かわいい！」と手に取ってくれたのがうれしかった
④建設業界で頑張っている女性がたくさんいるということを知るきっかけになってくれればいいと思う

● 建設産業人材確保・育成推進協議会 ●

①パンフレットを配布し、建設業の仕事について理解してもらう『建設業界ガイドブック』『ニッポンをつくる人たちまもる人たち』）
②パンフレットを開くことで、建設業が生活の中で欠かせないことに気付かされる
③熱心に説明を聞いたり、興味深げにページをめくっている子どもたちがいて、興味・関心の深さを感じた
④天候が微妙ではあったが建設業をアピールできたこと（パンフレットをかなり配布できた）がやりがいがあった

■凡例　①出展した技術②その技術は、私たちの生活の中のどの部分に役立っているか
③来場した子どもたちに説明する際に、感じたこと（意欲、関心、真剣さ）④イベントに参加した感想

巨大生物襲来！その時、建設産業界が立ち上がる


ドン
オオオオ
オオオオ
オオオオ